

全日本都市対抗テニス大会対抗戦種目変更の件

日ごろより当協会の活動に対しご理解ご協力をいただき篤くお礼申し上げます。

さて、表記の件ですが、2024年11月13日開催の(公財)日本テニス協会第8回
常務理事会にて下記のとおり承認されましたのでご報告いたします。

記

1. 変更内容(2025年青森県で開催される全日本都市対抗から採用する)

【 現 行 】

- ①一般女子ダブルス
- ②一般男子ダブルス
- ③ベテラン1部男子ダブルス
- ④ベテラン1部女子ダブルス
- ⑤ベテラン2部男子ダブルス
- ⑥一般女子シングルス
- ⑦一般男子シングルス

【 変 更 後 】

- ①ベテラン2部男子ダブルス
- ②ベテラン1部女子ダブルス
- ③ベテラン1部男子ダブルス
- ④一般女子ダブルス
- ⑤一般男子ダブルス

※今回の変更は、「シングルの対戦を行わない」ことに限定しており、
勝敗決定後の打切りはなし、チーム構成人数にも変更はありません。

2. 変更に至った背景

- ・開催時期である7月中旬から下旬にかけては、相当に高温多湿であり、多くのチームが1日に2対抗を消化する日程では、8ゲームであっても1日に最大4試合を行うことになり「選手ファースト・アスリートセンタード」からしても適切とは思えない。
- ・全日本都市対抗は「熱中症予防JTAガイドライン対象大会」であり、その指針に沿った大会運営が求められるが、本年7月の滋賀全日本都市対抗テニス大会でも、エンドチェンジ時にアイシングタイム10秒を追加するなど、大会運営に苦慮する結果となった。
- ・大会2日目・3日目は更に高温多湿となり、連戦による選手の疲労蓄積を考慮して、ダブルス終了後のシングルスは、8ゲームプロセットから1セットマッチへ変更。決勝戦も全試合1セットマッチとした。
- ・現状の7対戦では、その対戦を2回繰り返すと終了時間が午後8時を超えることが多く、夜の反省ミーティングや朝の準備等を含め、選手・スタッフの疲労度合を高めることになっている。
- ・上記を踏まえ、選手団の健康管理、競技役員や競技補助員の負担軽減、各対戦の時間平準化を目指して上程され承認されました。
- ・47都道府県に意見聴取した結果は、賛成40, 反対5, その他2 であった。

3. 上記変更に伴う当協会の対応について

- ・2025年1月開催の県予選会は、従来通りの「7対戦」で実施する。